



故L竹本實生を偲んで

1997～1998年度キャビネット幹事 邑上 治兵衛（池田LC）

えっつ！ 突然の訃報に声が詰まった

5月19日高野山での地区の慰霊祭に参加されて、その直後の訃報。つい先日の例会で昔話をしたばかりなのに。

故L竹本實生が1997～1998年度地区ガバナーを務められる時の池田ライオンズクラブの会長・幹事の間柄から、「おいキャビネット幹事を引き受けてくれ」と頼まれたのが縁で1年間、故L竹本と335-B地区内の例会訪問にご一緒させていただきました。それ以降20数年以上のながい長いお付き合い。人生の機微いろいろと教えていただきました。

故L竹本は、まさに竹を割ったような性格で、強い風が吹いても大きく撓る、まさに竹そのもの。大きな問題があっても正面から堂々と。お話は明朗快活、水の流れるようにお話になった。話下手な私はいつも故L竹本にどうしたらそのように滑らかにお話が出来るのかと尋ねたことが在った。

でもあの口達者な故L竹本。クラブの「私の苦手」と題した小文にテール・ツイスターの職務が苦手と書かれています。「私のように付き合い方の下手な人はストレスが溜まる」と。

また故L竹本の趣味はゴルフ。「朝に心ときめかしてコースに向かい、夕べには頭を垂れて家路に着く。それでも一夜明ければ、性懲りもなく、今度こそはと思いを巡らす」と書かれ「シングルも夢ではない、だけどロシングルはいけません」と今でも故L竹本の独特の早いショットの雄姿が目浮かびます。

故L竹本は誰もが知る、大の阪神タイガースのファン。今年も岡田監督頑張ってもらわないと、三途の川も渡れないと怒鳴られるかも。

そして「人間尊重」を社訓に掲げられた紙管を製造されていた社業も大いに躍進されて「生産者はまず良い市民に地域に解けこみ育てられ、優しい心を持った生産者でなければ質の高い商品は作れない」と説いておられる紙管業、今や年間100億もの売り上げておられると聞いております。

故L竹本も奥様もそろって四国土佐の高知のご出身。四国霊場の巡礼八十八か所の旅もご夫婦そろって10回を超えて回られたとか、そのご利益を得られ「おい今、閻魔様の前を無事に通ったよ」と大きな声が聞こえてくるような故L竹本。

1970年池田ライオンズクラブご入会以来ずっとライオンズクラブのメンバーとしてご活躍くださりご苦労様でした。今も例会に行くと「おーい元気か」と故L竹本の声がすぐ聞こえてくるような気がしてならない。

故L竹本 どうか安らかに眠りください。